

教育行政報告要旨

▼令和4年度の児童生徒数と学級数

児童生徒数は、小坂小学校が前年度同日と比較して14人減の138人、小坂中学校は5人増の92人となり、小・中学校を合わせると230人となりました。小坂小学校の学級数については、普通学級が6学級、特別支援学級が2学級で、どちらも前年度と同数で合わせて8学級となりました。小坂中学校は、普通学級が3学級、特別支援学級が2学級で、どちらも前年度と同数で、合わせて5学級となっています。

▼チャレンジデー

小坂町は、今年で12回目のチャレンジデー挑戦となりました。小坂小・中学校、児童・生徒の「8の字アタック縄跳び」をはじめ、多くの皆さんに参加していただきました。当日は、セパームアリーナなどの体育施設を終日無料開放し、健康体操教室などを無料で体験いただきました。

ました。

結果は、参加者が2,955人で、参加率61・6%となり、対戦相手の北海道愛別町に勝利し、銀メダルを獲得することができました。

このことは、チャレンジデーの趣旨と目的がますます浸透してきたことを示すものであり、町民の健康とスポーツによせる関心の高さが反映されたものと考えています。

▼鹿角小学校陸上競技大会

「第49回鹿角小学校陸上競技大会」が5月28日に行われました。

6年男子100mで立石獅門さんが6位、6年女子800mで澤田理央さんが2位、目時悠海さんが6位、5年女子800mで永田珠梨さんが4位、男女混合リレーで5位となるなど、日頃の練習の成果を発揮してくれました。

今後とも、学校・家庭と連携し、児童・生徒の運動能力、体力向上に取り組んでいきます。

▼十和田湖山開き

6月5日、心配された雨も上がり、56回目となる「十和田湖山開き」が行われました。昨年

度と同様に、今年度も安全な運営・救護体制の確保のため規模を縮小し、初級者向けコースのみで、参加者は県内在住者に限定し実施しました。

参加者40名が新緑の外輪山登山や湖畔の風景を楽しみ、大川岱到着後、「樹恩の鐘」の下で神事を行い、今シーズンの安全を祈願しました。十和田湖山開きは、世代間の交流や健康づくりの機会として、大きな意義がある事業と捉えていますので、今後も多くの皆さんに参加していただけるよう取り組んでいきます。

主な議決事項

●条例制定

◆小坂町過疎地域持続的発展のための固定資産税の課税免除に関する条例の一部を改正する条例

●補正予算

【令和4年度】
◆一般会計（第2号）

●その他

◆町道の変更
◆類似町村の産業振興に関する事務の調査

令和3年度各会計の決算見込み

令和3年度は「第6次小坂町総合計画」のスタートの年にあたり、「ひとと自然と文化を未来につなぐ魅力あふれるまち」という新たな目標に向かって、「まち」「ひと」「しごと」をキーワードとした3つの重点プロジェクトに取り組みました。移住定住促進、老人憩の家改修、大規模畑作農業推進、十和田湖和井内エリア整備、町道改良、災害対策強化、教育施設整備

備、下水道整備など、積極的に施策を展開したほか、新型コロナウイルス感染症の感染拡大を防ぐ対策、地域経済や住民生活を守る支援策について、万全を期しました。

財政運営では、一般会計の収入において町税、地方交付税ともに増となり、実質収支において、1億円を超える黒字決算の見込みとなりました。

令和3年度各会計の決算見込み

■一般会計		■中小企業従業員退職金等	
歳入	53億3,408万9千円	共済事業特別会計	
歳出	52億139万5千円	歳入歳出とも	306万円
差引	1億3,269万4千円	■菅原ヤエ奨学資金特別会計	
■国民健康保険特別会計		歳入歳出とも	227万3千円
歳入	5億4,020万6千円	■下水道事業特別会計	
歳出	5億1,376万8千円	歳入	2億9,651万円
差引	2,643万8千円	歳出	2億9,640万2千円
■後期高齢者医療特別会計		差引	10万8千円
歳入	8,232万7千円	■小坂財産区特別会計	
歳出	8,228万8千円	歳入	338万4千円
差引	3万9千円	歳出	214万2千円
■介護保険特別会計		差引	124万2千円
[保険事業勘定]		■水道事業会計	
歳入	7億8,202万1千円	[収益的収支]	
歳出	7億7,503万1千円	収入	2億6,149万2千円
差引	699万円	支出	2億5,161万3千円
[介護サービス事業勘定]		差引	987万9千円
歳入歳出とも	284万5千円	[資本的収支]	
■歯科診療所特別会計		収入	8,313万8千円
歳入歳出とも	6,390万8千円	支出	2億1,273万5千円
		差引	△1億2,959万7千円